

令和4年8月31日に締結した国・中小機構・県との伴走支援に関する連携協定に基づき、県内の伴走支援体制の更なる強化のため、今年度、国・中小機構と連携し、以下の施策を実施する

関係機関による連絡協議会の開催

国・中小機構・県・支援機関それぞれが持つ、伴走支援の事例やノウハウ、施策情報等を共有し、伴走支援体制の更なる強化を図る方策を一体となって検討する

(参加者)

中企庁、中部経産局、中小機構、県、商工会連合会、商工会議所、中央会、信用保証協会、I S I C O等

第1回 R4.10.14

支援機関職員の更なる資質の向上

伴走支援を行う上で必要なスキルを学ぶ研修や、若手職員の育成を行い、支援機関職員の更なる資質の向上を図る

【伴走支援講座の開催】

課題設定型伴走支援の基礎スキルの取得のため、中小機構から講師を招き県内で講座を開催

→11月以降、参加しやすいよう、地区毎（金沢・加賀・能登）に開催

指導員全員の受講が目標

【若手職員の育成】

20～30代の若手指導員の支援事例発表会と、国が推薦する優秀なベテラン指導員との意見交換会を開催

若手のスキルと意欲の向上を図る

県内事業者への情報提供の充実

県内事業者が支援制度を有効活用し、経営課題の解決に繋げてもらうため、国・県・支援機関合同セミナーを開催し有益な情報を提供する

【個別相談・フォローアップによる丁寧な説明】

国・県から支援制度を紹介した上で、個別相談の機会を提供制度活用に係るフォローアップを支援機関が実施

→2～3月の開催とし、新年度事業を中心に紹介

事業者の理解度を深める

【特別講演の実施】

支援制度の説明に加え、著名な経営者による特別講演を実施優れた経営戦略や経営哲学を学ぶ

事業者の自己変革力向上

特別アドバイザーの派遣

県と支援機関だけでは対応が難しい相談案件（DXや海外展開、更なる飛躍を志向する事業者等）について、国がその分野に特化したプロフェッショナルな専門家を手配し、一体となって支援にあたる

【特別アドバイザーの派遣】

県内でノウハウが十分でない分野について、国の豊富な人材情報から、相談内容に応じた適切な専門家を派遣

県と支援機関で協議した上で案件を選定し、適宜実施

国の豊富な人材情報を活用